

### 3. 福祉関係

#### 1) 社会福祉関連

##### ( 具体的な意見や質問 ) 【堀田公民館】

介護保険料、国民健康保険税が、別府市は高いと思う。下げてもらいたい。

##### ( 議会として考え方や回答 )

利用者の負担が増えていると認識しています。

人口減少や高齢化により医療費や介護給付費が増加しています。

皆さんが負担する医療費等は、国が定めた基準で決定していますので、市（行政）が積極的に関与することは難しいと考えています。

しかし、市としても予防事業等の実施により、医療費等の抑制に努めています。

##### ( 別府市の回答及び対応状況 ) <福祉保健部>

介護保険の財源は、国・県・市が負担する公費50%と40歳以上の方が負担する保険料50%でまかなわれています。また、保険料のうち65歳以上が負担するのは40歳以上の人口比により全体の21%です。

保険料の決定方法は3年を1期とした介護保険事業計画を策定し、給付費の見込み額を算出して計算されます。現在は、平成24年度から26年度まで第5期計画期間中でございます。

現在平成27年度からの3年間の第6期計画を策定しています。これまでの決算状況を見ますと次期計画期間中に介護保険料を上げる状況ではないと予想しています。また、国の税と社会保障の一体改革により低所得者に対し、介護保険料を軽減するために最大1300億円が投入されることとなっています。これにより世帯非課税の方の保険料負担は軽くなると考えられます。

##### ( 別府市の回答及び対応状況 ) <総務部>

保険税の算出にあたっては、加入者の医療費並びに所得等が大きく影響します。

特に市町村が運営する国民健康保険は加入者の高齢化により、年々医療費が増加しており、保険税の負担も増加しています。

この様な状況の中で、当市は平成24・25年度に一般会計から繰入をして累積赤字の解消を図り、保険税の値上りを抑制してきました。

国民健康保険の財政は、高齢化の進展による医療費の増加により、今後も厳しい財政運営が続くと思われませんが、保健事業等の実施による加入者の健康増進を図ることにより、保険税の負担軽減に向け努力していきたいと考えています。

**(具体的な意見や質問 ) 【扇山公民館】**

生活保護費の受給額が多いと聞く。  
国民年金の受給額より多いのはおかしいのではないか。

議員に頼めば、生活保護費をもらえると聞いたが本当か。

**(議会として考え方は回答 )**

ご意見は、行政(執行部)にお伝えいたします。

生活保護の認定については、基準があります。  
議員に頼めば受給が可能になることはありません。

**(別府市の回答及び対応状況 ) <福祉保健部>**

生活保護費は、被保護者の年齢、世帯構成、所在地域などを基準に厚生労働大臣が定めることになっており、これを最低生活費と言います。

国民年金は、自営業の夫婦をモデルとしたため単身世帯では最低生活費を下回ります。

国民年金創設当時の主な加入者だった自営業の方は、年金を受給しながら働き続ける人が多く、生活費の全てを国民年金で賄うような制度設計にはしなかった経緯があります。そのため年金保険料も低めに設定されました。

年金収入が最低生活費に満たず他に収入もない方は、生活保護基準に該当すれば最低生活費と年金額との差額を受給できます。詳しくは社会福祉課にお問合せください。

生活保護の適用は、国の基準(生活保護法及び実施要領等)に従って適正に審査・決定されます。

議員に依頼することでこの適用基準が変わることはありません。したがって、生活保護を受給しやすくなるということはありません。

---

**(具体的な意見や質問 ) 【風呂本・御幸公民館】**

観光客が、急病の時の消防の救急隊や病院の対応がとても良いと聞いている。  
市内や市外にアピールすべきと思う。

**(議会として考え方は回答 )**

ご意見として、行政(執行部)にお伝えいたします。

**(別府市の回答及び対応状況 ) <消防本部>**

貴重なご意見ありがとうございました。

今後とも、市民並びに観光客のため、病気などの緊急時には適切、的確な処置を施し、迅速に医療機関へ搬送し、安全で安心して暮らせる別府を目指します。

観光都市別府のアピールにつきましては、市報や消防本部のホームページ上に観光客の救急搬送人員の統計、また救急車で搬送された方からのお礼等の手紙を「感謝の声」として掲載していきたいと考えております。それにより、観光客の方が安全で安心して訪れることのできる別府をアピールしていきたいと考えております。